

# うじたわら町 議会だより

Ujitawara Town Council Information

No. **59**  
**2009. 5**



## きょうから1年生 (田原小学校)

### ●目次(CONTENTS)

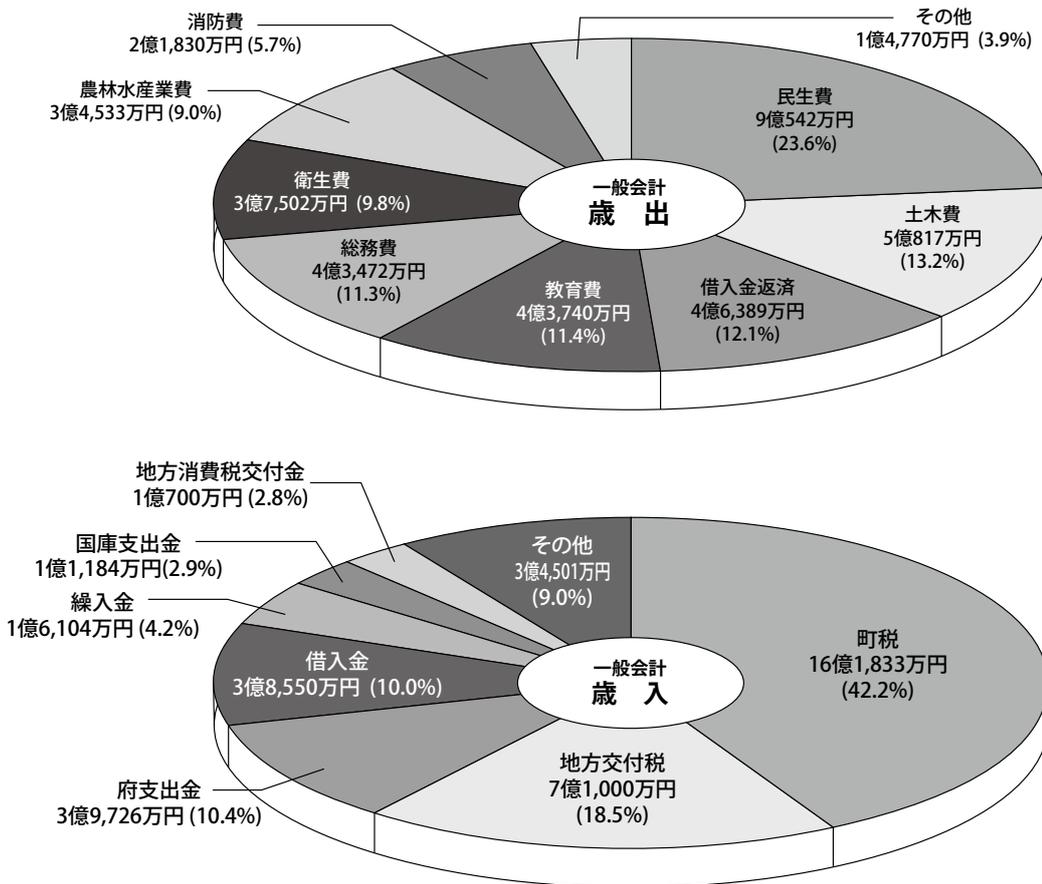
- 3月定例会 ..... 2P
- 制定・改正した条例、補正予算 ..... 4P
- 予算特別委員会の審議から ..... 5P
- 請願・討論 ..... 8P
- 一般質問 ..... 9P
- インタビュー・編集後記 ..... 14P

2009年5月1日(金) 発行

発行 宇治田原町議会  
編集 議会広報編集委員会  
京都府綴喜郡宇治田原町荒木  
西出10(〒610-0289)  
TEL.(0774)88-2250(代表)  
(0774)88-6641(直通)  
FAX.(0774)88-6617  
メールアドレス gikai@town.ujitawara.kyoto.jp

# 総額65億5,775万円 対策など議決しスタート

3月定例会



平成21年第1回定例会は、3月9日から27日まで開催された。町長の平成21年度施政方針演説をはじめ、予算関係19件（補正10件、当初9件）、条例関係11件（制定2件、改正9件）、その他の案件22件が提出され、いずれも原案通り可決。予算については予算特別委員会を設置し、慎重に審議した。一般質問には5人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

## 会計別の予算 (千円以下切捨て)

会計予算名	予算額	前年度比較	議決	
一般会計	38億3,600万円	△1.0%	可決 賛成9・反対2	
特別会計	国民健康保険会計	9億7,913万円	1.3%	可決 賛成9・反対2
	老人保健会計	1,066万円	△87.9%	可決 賛成全員
	後期高齢者医療会計	8,241万円	△10.6%	可決 賛成9・反対2
	介護保険会計	6億3,119万円	8.8%	可決 賛成9・反対2
	奥山田地区簡水会計	4,832万円	△0.4%	可決 賛成全員
	高尾地区飲供会計	4,583万円	1142.7%	可決 賛成全員
	公共下水道会計	5億7,569万円	△9.7%	可決 賛成全員
水道事業会計	3億4,850万円	△2.7%	可決 賛成全員	
合計	65億5,775万円	△1.4%		

# 平成21年度予算 緊急生活・経済支援

3月定例会



集団茶園造成地  
(郷之口西ノ山)

## 6つの重点プロジェクト

(千円以下切捨て)

### 少子化対策プロジェクト

ハッピー・マタニティ支援事業	762万円
福祉バス運行事業	905万円
子育て支援医療費支給事業	2,255万円
次世代育成支援対策行動計画策定事業	213万円

### 健康長寿日本一プロジェクト

高齢者福祉サービス事業	1,727万円
健やかうじたわら 21 プラン事業	120万円
高齢者人間ドック事業	87万円
地域巡回型健康教室実施事業	10万円

### 教育・環境プロジェクト

茶の里っ子を育む学習事業	79万円
エコライフ・グループ実践集作成事業	30万円
子どもを育む読書活動支援事業	29万円
エコエネルギー利用研究会事業	10万円
次代を担う子どもの教育環境創造事業	12万円

### 障がい者対策プロジェクト

障がい者自立支援給付等事業	1億1,600万円
福祉タクシー事業	162万円
こどもの発達サポート事業	102万円
障がい者仕事おこし事業	10万円

### 産業・観光活性化プロジェクト

新都市アクセス道路整備事業	1億245万円
集団茶園整備事業	2億1,715万円
主要町道新設改良事業	5,140万円
有害鳥獣被害防止対策事業	220万円
地域観光対策事業	100万円

### 安心・安全プロジェクト

安心・安全橋りょう長寿命化事業	1,700万円
公共施設等耐震対策事業	1,515万円
消防団支援隊組織化事業	56万円
防犯推進連携事業	37万円
災害時要援護者支援体制構築事業	16万円

制定した条例

○大規模店舗の立地を制限する条例

地元中小商店を保護する観点から、床面積1万円を超え、大規模な店舗の立地を制限する。

〔可決 賛成全員〕

改正した条例

○「液晶テレビ」等もリサイクル料金が必要に  
家電リサイクル法の改定により、本年4月1日から「液晶テレビ」「プラズマ式テレビ」「衣類乾燥機」のリサイクル料金が必要となる。

〔可決 賛成全員〕

○町職員給与の地域手当を廃止

平成22年4月1日より、地域手当を廃止する。

〔可決 賛成全員〕

○町長等の給料を引き下げる

町長の給料を「10%」、副町長、教育長の給料を「5%」引き下げる。

〔可決 賛成全員〕

○国民健康保険税を引き上げる

医療制度の改定や、医療費の増大により、赤字となっている国保会計の財源不足を補うため、均等割額を4千円引き上げる。

〔可決 賛成9…反対2〕

○介護保険料を引き上げる

介護報酬の改定やサービス給付費の見込み額を検討した結果、介護保険料の基準額(第4段階)を月額159円引き上げる。

〔可決 賛成9…反対2〕

平成20年度 補正した予算

一般会計では、緊急雇用、経済対策に主眼をおいた平成21年度の前倒し事業や、国の定額給付金支給にかかると、決算見込みにもなう各種事業の確定などにより計上したもので、補正額は次のとおりとなった。

会計予算名		補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計		1億5,064万円	40億5,545万円	可決 全員賛成
特別会計	国保会計	4,314万円	10億7,076万円	可決 全員賛成
	老人保健会計	△75万円	8,770万円	可決 全員賛成
	介護保険会計	3,040万円	6億1,629万円	可決 全員賛成
	後期高齢者医療会計	△1,353万円	8,237万円	可決 賛成9・反対2
	奥山田簡水会計	△10万円	4,839万円	可決 全員賛成
	高尾飲供会計	△25万円	343万円	可決 全員賛成
	公共下水道会計	△2,693万円	6億1,551万円	可決 全員賛成
水道事業会計	収入	△8,636万円	2億6,886万円	可決 全員賛成
	支出	△2,605万円	3億2,822万円	

(千円以下切捨て)

定額給付金は

景気後退下での生活不安に対処するため、定額給付金を広く給付し、住民への生活支援を行うとともに、地域の経済対策とする。(千円以下切捨て)

区分	人数	支給単価	支給額計
18歳以下	1,980人	20,000円	3,960万円
65歳以上	2,150人	20,000円	4,300万円
上記以外	6,077人	12,000円	7,292万円
予備費			47万円
合計	10,207人		1億5,600万円

子育て応援特別手当は

「生活対策」にかかる緊急措置として多子世帯の負担に配慮し、対象となる世帯に子育て応援特別手当を支給する。

対象児童数 170人  
総給付金額 612万円

不況対策として平成21年度の事業を前倒し実施

◆耐震診断

中央公民館、林業センター、やすらぎ荘、昭和56年以前に建築した鉄筋コンクリート造りの地区公民館の耐震診断を実施。

◆保育所の保育スペース確保

入所児童・一時保育利用児童の増加により手狭になっている保育スペース確保のため、ホールの一部を改修する。

◆橋の修繕工事

住民の安心・安全を確保するため、老朽化した橋の修繕工事を実施する。

◆宇治田原のお茶PR事業

「日本緑茶発祥の地、宇治田原」を広く町内外にPRし、地域観光の活性化をはかるため、パンフレット、ハッピーを作成し、PR活動を実施。

# \* 予算特別委員会の審議から \*

予算特別委員会は12人で構成し、委員長に弦川孝治議員、副委員長に田中修議員を選び、3月17日から3日間の日程で審議した。

## 主な質疑

### 条例関係

町職員の給与に関する条例の一部改正

【質問】

地域手当廃止について、職員組合との合意は、

【答弁】

平成21年度は支給率を2%、平成22年度から廃止する。町職員組合とも合意している。

国民健康保険税条例の一部改正

【質問】

均等割の改正により滞納者が多くなる懸念がある。制度の構造的な問題について見直しを要望すべき。

【答弁】

制度的に問題のある部分については京都府等に要望していく。

介護保険条例の一部改正

【質問】

保険料を値下げする自

### 予算関係

#### 一般会計

#### 総務関係

【質問】

災害用食料の備蓄物資の供給協定を結ぶ町内業者をもっと増やすべき。

【答弁】

今後検討していく。

【質問】

公債費（借入金返済）の今後の見通しは、大き

治体もある中、宇治田原町ではなぜ値上げなのか。

【答弁】

介護報酬3%アップ分や認定者の増加により、値上げとなった。

【質問】

行政委員の選任は、公募を増やし、同じ人にかたよらないように。

【答弁】

審議会等の活性化指針に基づき同じ人にならないよう、住民参加を促していきたい。

【質問】

きめこまかい福祉バス運行の具体的な考えは。

【答弁】

住民ニーズ等調査する中で慎重に考えていく。

#### 福祉関係

【質問】

生ゴミ処理機の効果は。

【答弁】

ゴミの排出量が減り、住民の意識啓発につながるこ

とから、今後も普及啓発に努める。

【質問】

高齢者人間ドック事業の内容と募集についてはどうするのか。

【答弁】

国保人間ドックに準じた形で実施し、募集については対象者全員にお知らせし、申し込みしていただく。

【質問】

子育て支援医療費を、中学校まで拡充すればどのくらいの負担になるのか。



おでかけ広場

【答 弁】

およそ初期投資350万円、医療費650万円の負担になる。

【質 問】

福祉応援金支給事業の対象者が減った理由は。

【答 弁】

要介護度3は判断が難しい、難病患者は町で把握ができないため該当しないが、今後検討する。

【質 問】

こどもの発達サポート事業の対象者と体制は。

【答 弁】

保育所の年中見全員が対象で、年間1〜2名が該当してくるのではないかと考えている。臨床心理士については2名体制である。

【質 問】

福祉タクシー事業の周知方法は。

【答 弁】

毎年、町広報、ホームページで周知している。

【質 問】

古紙回収事業の状況は。

【答 弁】

紙ゴミリサイクルとして定着している、補助金を地域活動にも充当するよう見直しを図りたい。回収量は年々増加傾向である。

### 農林土木関係

【質 問】

主要町道新設改良事業、三宮線について遅れている理由は。

【答 弁】

土地境界確定の件で遅れているが、用地買収完了後、工事に着工する。

【質 問】

緊急雇用創出事業・有害鳥獣追い払い追跡調査事業の内容は。

【答 弁】

調査員を年間4人雇用し、猟友会から指導を受け、野猿の追い払いなどを行う。また、調査員の管理等は委託先が行う。

【質 問】

有害鳥獣被害防止対策事業の捕獲檻購入は。

【答 弁】

郷之口地区で3基ほど必要であり、設置場所については地元区の意見も聞きながら設置していく。

【質 問】

集団茶園整備事業の町民への理解とPRは。

【答 弁】

観光振興や地域活性化拠点施設として活用し、後継者対策など日本緑茶発祥の地として取り組んでいる。

### 教育関係

【質 問】

旧奥山田小学校施設利用の見通しは。

【答 弁】

検討委員会の意見申請を尊重し、十分時間をかけて考えていく。

【質 問】

次代を担う子ども教育環境創造事業のとりくみは。

【答 弁】

教育懇談会委員の構成については、学校等保護者も入って一般の声も聞くことができる組織を考えている。アンケート実施により課題等明確にしていきたい。また、幼・保・小・中の連携が大切と考える。

【質 問】

緊急就学等支援対策について、詳細は。

【答 弁】

平成21年度に離職・倒産などにより収入が減った保護者が対象で、高校生の通学費、就学援助費について拡充する。従来以上に町広報等を利用して周知したい。



紙ごみはリサイクルを



集団茶園造成地

【質 問】  
 小学校のテレビについて、地上デジタル放送移行に伴う対応は。

【答 弁】

移行の期限も決まっているので、学校と調整し速やかに進めていきたい。

【質 問】

住民体育館アリーナ照明設備にエコ対策を。

【答 弁】

太陽光発電については、有力な自然エネルギー



太陽光発電の導入を

### 総括審議

【質 問】

平成22年度歳入・歳出収支ゼロに向けた取り組みについて、見通しと現状判断は。

【答 弁】

平成21年秋頃に経済と財政に関わる最新の情報を踏まえ、財政見直しを試算していく。財政健全

化への取り組みを堅持しながら、大きな目標に向けて全力で取り組んでいきたい。

【質 問】

維孝館中学校の一部生徒による問題事象への対策は。

【答 弁】

落ち着いて学習でき、学力が向上する学校づくりのため、引き続き補助教員を配置する。巡視員については地域を含めて協力をお願いしていく。

### 国保会計

【質 問】

国民健康保険税条例の減免規定は。特定検診をもっと充実すべき。

【答 弁】

負担の公平性から減免については慎重に対応したい。特定検診については、検診項目・内容について充実するよう検討していく。

### 後期高齢者医療会計

【質 問】

1年以上保険料を滞納すれば資格証明書が発行されることとなっているが、どう対応するのか。

【答 弁】

広域連合としては、真にやむを得ない場合発行することになるが、交付基準等の運用にあたっては町の考えが尊重されるものと思う。

### 介護保険会計

【質 問】

介護報酬が3%アップすることで、十分と考えているのか。利用料が上がるのではないか。

【答 弁】

今後どのように処遇改善が図られていくのか検証されていくと思う。利用者には不利益等の問題点が出てくれば府を通じ国へ要望していく。



漏水工事

### 水道事業会計

【質 問】

漏水の状況は。

【答 弁】

平成19年度実績で約24万m<sup>3</sup>が漏水している。有収率の向上に努めている。

【質 問】

今回の取水井新設で井戸を掘るのは最後か。

【答 弁】

平成21年度に新水源を確保できれば、計画水量をほぼまかなえる。水質検査を実施し、結果により着工を決定していく。

【質 問】

水道の基本料金の見直しを。



新都市アクセス道路予定地

請願

維中の学級増を求める  
請願は「趣旨採択」

去る12月議会で提案され、文教厚生常任委員会に付託されていた「維中の学級増を求める請願」は3月2日の委員会では、学校の現地調査もふまえて審議され、3月9日の本会議において、全員賛成で「趣旨採択」とした。

一般会計予算に

反対 住民の理解を得られない予算

(安本 修 議員)

アメリカ発の金融危機が、住民の暮らしや営業を深刻にし、雇用不安と貧困に追い込んでいるなか、本町の一般会計予算は、国の緊急対策予算の範囲で、当然やるべき事業の前倒しにとどまっている。

新都市アクセス道路(南北線)は、進出企業からの寄付金8千万円が入らず、企業進出さえも一時凍結という状況である。住民生活が厳しい今、いつ芽が出るかわからない事業への巨額の財政支出は住民の理解を得られない。

生活支援金が削減、学童保育は定員を大幅に超え、安全面から大問題。中小商店の実態調査も不十分。中学生の苦しみ悲しみ、保護者の不安を解消する施策が不十分である。

賛成 戦略的・積極的な堅実予算

(垣内 秋弘議員)

世界的な景気悪化で、法人税等1億円以上の大幅な税収減の見込みのなか、住民の暮らしの安心・安全を高め、積極的な町政を打ち出している。

まず行政改革では、3千600万円の削減効果を出し、前倒し13カ月予算として、切れ目のない予算編成となっている。地域経済と雇用、生活の3面に焦点をあて、緊急の生活・経済支援対策を講じようとしていることは、現下の喫緊の課題を見すえた現実味のある取り組みである。

新都市アクセス道路の整備は、本町の地域的な取り組みを生かした戦略的な事業であり、次の世代に地域の資産・力を引き継いでいこうとする積極的な取り組みであり、本町に賑わいをもたらす前向きな施策として高く評価する。

国保税条例改正に

反対 (今西久美子議員)

4千円もの値上げは住民の生活を直撃する。国の助成削減は問題が大きいが、検診の充実や、減免などの実施こそ重要。

賛成 (上林 昌三議員)

保険給付費の増大で、厳しい運営となる中、必要最低限の改正である。健全な事業運営をはかるとされており、評価する。

介護保険条例改正に

反対 (今西久美子議員)

景気の悪化のもと、これ以上の値上げは許されない。

賛成 (上林 昌三議員)

健全な財政を運営・維持するため、値上げはいたしかたない。

後期高齢者医療特別会計に

反対 (今西久美子議員)

本制度は、高齢者を差別し、医療内容を制限する許せない制度。廃止を求める。

賛成 (青山 美義議員)

本制度は、高齢者が安心して医療を受け続けられるよう、作られた制度。改善も図られた。



森田 木一  
議員

# 町長3期目の政治姿勢は

## 【答】赤字体制からの脱却が私の責務



一部完成した南北線

【質問】

町長のマニフェストでは、3つの基本姿勢と5つのまちづくり基本方針、48項目の基本政策の中に、平成22年度歳入歳出収支ゼロを実現し、健全財政を確保するとあるが、その見通しは。

【答 弁 (町長)】

健全財政の確保の見通しについては世界同時不況の影響で深刻な状態であるが、平成22年度歳入歳出収支ゼロを実現し、赤字体制からの脱却を図ることに道筋をつけることが私の責務である。徹

底した行政改革を進め、継続可能な、自主・自立のまちづくりの推進により健全財政の確保を図る。

【質問】

新市街地の土地利用を促進し、産業経済の活性化を図り、企業誘致を促進し、雇用の創出と商工業の活性化を図るとなっている。南北線の一部道路はできているが、工場進出

が中断となっている。どのように受けとめているのか。

【答 弁 (町長)】

経済不況で、工場建設を凍結され残念である。新市街地の土地利用促進は、本町の雇用創出と産業経済活性化のため必要である。新市街地整備計画検討委員会により、土地利用整備計画、都市基盤整備の検討を進め実現していきたい。

## 子育て支援医療補助制度の中学生まで拡充を

### 【答】財政を見通し、総合的見地から実現を図る

【質問】

マニフェストに「健康長寿日本のまちづくりを推進し、安心して子供を産み育てる環境整備を進め、子育て支援に係る医療費の支援を拡大する」とあるが、子育て支援医療補助制度を中学生

まで拡大することを任期中に実現できるのか。

【答 弁 (町長)】

子育て支援医療費の支給は、平成21年度は現行の支援内容を維持し継続、公約の実現は、子育てから介護や医療、経済雇用、生活対策等、直面

する中、長期的な課題や財政を見通し、実現を図っていききたい。

## 待ちに待っていた定額給付金の給付スケジュールは

### 【答】4月23日をめどに第1回目の給付を予定

【質問】

定額給付金、子育て支援特別手当、高速料金引き下げなど、第二次補正予算関連法が成立した。本町の給付スケジュール、給付体制はどうなのか。その総額は。

【答 弁 (行革推進室長)】

3月2日より行革計画推進室を担当室と位置づけ、職員1名を増員配置、臨時職員3名配置で体制を図っている。給付



定額給付金の申請

# 経済不況下での 緊急経済・雇用対策を

**【答】** 前倒し予算で  
生活・経済支援策を講じる



垣内秋弘  
議員

をどう考えているのか。

**【答】** 弁(財政課長)

**【質 問】**  
世界同時不況下で、景気悪化に歯止めがかからない未曾有の経済危機状態が一層深刻さを増す中で、緊急経済・雇用対策

をどう考えているのか。  
住民生活の安心・安全を守り、地域経済や雇用の安定を図るため、平成21年度当初予算と3月補



合同就職説明会

正予算を連結させた「13カ月予算」で総額6千万円余りの緊急の生活・経済支援対策を講じる。ターゲットは「地域経済」「雇用」「生活」の3本柱で、雇用支援は有害鳥獣の追い払い隊や保育所の支援

スタッフとして、臨時職員や嘱託職員を若干名さらに、来年度採用計画の一般事務職員を前倒しで5月1日採用予定で募集している。

**【質 問】**

中小零細企業への支援をどう考えているか。

**【答】** 弁(産業振興課長)

中小零細企業の経営安定のための借入金金に係

## 「地方分権改革」 権限移譲への準備状況は

**【答】** 権限移譲は小規模で  
受け入れに問題はない

**【質 問】**

平成21年度内において地方分権改革推進計画を策定し、平成22年度から

する融資利子補給金支給事業を緊急経済対策の一環として、借入金総額20億円に対応する補給金の予算を計上した。また、雇用促進助成事業において9月までの次元的処置として助成金を追加交付するとともに、町内における求職者及び事業場を対象に就職説明会を開催する。

## 庁舎の耐震整備と 公共施設の耐震対策は

**【答】** 耐震整備コストを把握し、  
優先順位を決めて対応する

**【質 問】**

役場庁舎の耐震診断結果の指数は極めて悪いが、耐震整備についてどのような方向性を検討されたのか。また、役場庁舎以外の公共施設の耐震対策の考え方は。

**【答】** 弁(財政課長)

今年度は役場庁舎の検討を進める上で、すべての公共施設を対象に必要な性の有無について選別

**【答】** 弁(財政課長)  
平成18年地方分権改革推進法が成立し、昨年に出た一次勧告内容では生活者の視点に立つ「地方政府」の確立を理念に掲げ基礎自治体優先のもと、まちづくりや福祉、産業安全などの分野を中

心に64法律、359の事務権限が来年4月に委譲されることになるが、町村は28にとどまる中で、早期移譲や移譲権限の拡大等について協議を重ねており、受入れ可能な勧告以外の内容も前倒しで実施していく。

し、優先順位とタイミングを決める。中央公民館、やすらぎ荘、林業センターの3施設と一時避難場所に指定している地区公民館のうち鉄筋コンクリート造りの4施設(郷之口、岩山、禅定寺、奥山田)の各会場についての耐震診断を実施し、必要経費の把握をしたいと考えている。



今西久美子  
議員

# 水道料金の 減免制度創設を

【答】考えていないが、調査する



【質問】

ひとり暮らしや高齢者だけの世帯では、基本水量も使っていないことが予想される。近隣市町では、低所得者や独居老人などを対象に、水道料金の減免制度があるが、宇治田原町でも創設を。

【答弁（水道課長）】

府内で4事業者が減免制度を実施している。本町では、上水道の経営の状況から、実施の予定はないが、他自治体の制度内容、収支に与える影響などを調査する。

【質問】

わが町の有収率は、近隣市町と比べて10ポイントも低い。有収率を上げれば単価が下がる。向上に向けての取り組みは。

【答弁（水道課長）】

平成19年度の有収率は84%で残り16%の大半は漏水による損失。限られた水資源を無駄なく活用し、健全な水道事業経営のため、有収率の向上に向け、引き続き公共下水道の工事に合わせて、老朽配水管の布設替えを行っていく。

## 住民の雇用、くらし、営業を守る取り組みを

【答】4つの雇用創出事業を考えている

【質問】

100年に一度の危機と言われるいま、住民の雇用や暮らし、中小企業、商店を守ることに全力をあげるべきである。

住宅改修助成制度は、経済効果があり、直接の仕事おこしにつながる。また府の制度である耐震改修助成の実施を。

【答弁（産業振興課長）】

府の住宅改良資金融資制度があり、広報紙等により周知していく。住宅改修助成は考えていない。耐震改修助成制度は、平成21年度に耐震化計画を策定し、平成22年度以降に検討する。

【質問】

町内企業・商店への現場職員による訪問実態調査と、積極的な相談活動を。また住民の雇用不安、

ジョブパーク（総合就業支援拠点）を紹介する。

【質問】

国の緊急雇用創出交付金を活用して、維孝館中学校の補助教員や、学童保育の指導員増員などに活用してはどうか。

【答弁（産業振興課長）】

実態調査や相談活動は町商工会で対応している。雇用不安については、町として合同就職説明会の開催や求人掲示板の設置等を実施し、雇用相談は、ハローワークや京都

## 郷之口地区地下水汚染問題

来年度も検査と監視の体制維持を

【答】府と協議し地元の意向も聞いて対応する

【質問】

郷之口地区でテトラク口口エチレンが検出されて9年が経つ。最近の検査結果と来年度の検査体制は。

【答弁（保険環境課長）】

検査の結果、24井戸中、

16井戸は未検出であり、検出されている8つの井戸についても、環境基準値をクリアしている。

今後の調査結果をふまえ、京都府と協議し、地元の意向も聞きながら対応をはかる。

# 教育長が語るリーダー像、 リーダーシップ論とこれからの対応

**【答】**例えば、あの人のもつて働きたいと言われるようなリーダーが、ベスト



森山高広  
議員

### 【質問】

小学校ではリーダーシップ教育を実施。学校とその延長線上にある教育委員会とが考えるリーダーの方向性にある程度の一貫性を確認したい。

教育委員会が求める

リーダー像とリーダーシップとはなにか。また、「教育委員会が問題点のある現場への積極的な視察を十分に行っていない。」・「維孝館の問題は固有の問題ではなく普遍

的な問題だが、成果を挙

げている学校もある。改革で有名な学校への視察と分析や維孝館への還元が不十分。」・「住民の懸念や疑問に対する根本的な対策やビジョンが不十分。」の疑問に対して教育のリーダーとしての意見を。

### 【答 弁 (教育次長)】

主体的にたくましく生き抜く、知・得・体のバランスと、心豊かな人間性。仕事の方向性をはっきりと具体的に示し、チームメンバーを同じ方向に導き、支持を得ながら指示できるタイプ。学校と一体となり取り組み、教育現場への視察は

行っている。先進校には可能な限り行きたい。「学びたい学校」、「行かせたい学校」となるように努める。

### 【質問】

リーダーの能力として、ビジョンと戦略の作成、部下等の育成、共通の文化や価値観の創造、部下のモチベーション向上、自分自身の客観的な評価、人の話を聞くこと、変化の創造、改革の実行、危機対応、噂の処理等があるがあまり触れられず。リーダーの特徴としても、体力、知性、知識、判断力、決断力、積極性、自信、正直さ、情熱、独立性、社会性、協調性、向上心、逆境での強さ、目標達成への責任

感の強さ、粘り強さ、学歴等があるが、あまり触れられていない。これでは、リーダーとしての特徴はあるが、何をして良いかわからないタイプ。そこで、教育長にもう一度確認したい。

### 【答 弁 (教育長)】

リーダーとは指導者としての資質、能力、力量、統率力を兼ね備えた人で、必要とされる能力とは、観察力、状況判断

力、意思決定力、行動力、責任感等が大切。例えば、あの人のもつて働きたいと言われるようなリーダーが、ベストと考える。組織を動かすのは人であることから、本町の地域特性を十分理解し、自治意識を形成するためにも、さらに人材の育成に努めていきたい。

## 不況の影響は

【答】大いに影響あり

### 【質問】

世界的な不況は、宇治田原町の税収にどの程度影響があると予測されているか。分析方法や根拠の説明も。

### 【答 弁 (財政課長)】

平成21年度は、固定資産税で約2千600万円

減、法人税(上位法人に聞き取り調査)で約8千900万円減(約40%減)、町税全体で約1億円減。しかし、普通交付税が8千500万円増。予想よりも悪化した場合、減収補填債発行も考えられる。



リーダーシップ教育のひとつ「大なわ大会」



上林昌三  
議員

# 抑止力となるのか 今の交番で

【答】 場所・体制等、要望していく



田原交番の早期移転・新築を

一般質問

【質問】  
町として、地域の防災  
抑止力が高める施策を推  
進する安心・安全プロ  
ジェクトの取り組み、ま  
た、防犯推進連携事業の  
一環として、地域防犯推

進ネットワーク協議会の  
設立など、町の防犯に対  
しての取り組みについて  
は一定の評価はできる。  
さらに消防防災面では  
町内7地区で既に自主防  
災組織が結成され、住

民の安心・安全の意識は  
向上している。しかし一  
方、防犯面において、外  
見からしても老朽化して  
いる今の田原交番の現状  
で、はたして犯罪発生  
の抑止力となるのか心配  
である。緑豊かで平和な  
本町ではあるが、今どき  
日何が起こりてもおかし  
くないと思う。  
早期に交番の移転新築  
と合わせて警察官の増員  
を実現することを京都府  
に対し一層強力に要望さ  
れたい。それでこそ治安  
体制の強化となる。そこ  
でこの件に関して現在府  
との間でどのように進ん  
でいるのか。

【答】 弁(総務課長)

全国的に犯罪情勢の急  
激な悪化が見られる中、  
特に児童の殺傷、また、  
少年犯罪、凶悪事件など  
が続発する中、地域を取  
り巻く環境が著しく変化  
し、住民の不安がますます  
増大してきている状況

で、本町が強みとして持  
つ地域力を生かし、地域  
活動団体、事業者、警察  
町が緊密に連携、協働  
し、なお一層住民が安心  
して、安全に暮らせるこ  
とができるように、地域  
防犯推進組織を立ち上げ  
る。  
交番についても地域防  
犯力の向上、そして地域



振り込め詐欺に注意

に最も密着した安心・安  
全の核となるよう何が  
あっても、まず田原交番  
を住民の方が頼りになる  
よう建物、警察官増員も  
合わせ随時要望してい  
く。



自主防災訓練 (緑苑坂)



ふれあいサロン (禅定寺)



山の日のつどい (くつわ池)



## インタビュー

「心を通じ合う人とともに、一身体清掃活動をやり通したい」という西村勝美さんに登場していただきました。



竹ぼうき会代表

# 西村 勝美 さん

毎月町内の幹線道路沿いで清掃活動を続けておられる竹ぼうき会。「さわやかボランティアロード」の活動や町社会福祉協議会の登録ボランティアとして、環境美化と啓発に取り組んでこられました。今回、京都府代表として第20回「緑の愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞されました。

Q 永年の努力が認知され、国土交通大臣表彰を受賞された率直な気持は。

A 皇太子ご夫妻にもお会いでき、大臣から直々に表彰を受け、ありがたい気持ちでいっぱいです。とにかくまちを綺麗にすることだけを考え頑張ってきた甲斐がありました。

Q 何を目標に頑張ってきましたか。

A 強い絆で結ばれた仲間とともに、利害関係を持たず「ごみのないまち」をめざし、コツコツ頑張ってきました。

Q 「会」の設立は。

A 平成3年4月です。

Q 活動の周期、会員数は。

A 月1回、第一木曜日の9時〜実施しています。当初6人でスタートし、現在は約30人です。

Q 現在に至るまでのご苦労は。

A 発足当時はボランティア

活動に対して理解不足の部分があり、嫌がらせを受けた時もありました。

Q 今後、どのように継続発展させていきたいですか。

A 各地域でリーダーや仲間を増やし、「町」全体に広げていきたい。また、安全には十分留意して取り組みたい。

Q 将来、宇治田原をどんな「まち」にしたいですか。

A 茶どころ宇治田原にふさわしく、環境美化日本一と言える、ごみのないまちにしたいです。



## 編 集 後 記

新緑の美しい季節になってまいりました。この春、田原、宇治田原両小学校では、かわい

い1年生を迎え新学期が始まりました。次代を背負う子供たちは、町のみんなの宝物であり健やかな成長を願ってやみませ

ん。  
さて、3月定例議会では厳しい財政事情の中、平成21年度の当初予算をはじめ条例関係等、多くの議案を審議いたしました。議会の様子をより多くの町民の方々へ、わかりやすくお知らせできる『議会だより』の作成に、広報編集委員一同頑張つてまいります。  
ご意見等をお寄せ下さい。

広報編集副委員長

田中 修